

東風だより

題字 木村夏子先生



第7号

宇美東小学校区コミュニティ通信

発刊日：平成30年9月15日

発行所：宇美東小学校区コミュニティ運営協議会

宇美東小学校避難訓練 (防災部・子供育成部)

5月18日、火災避難訓練が行われ、その様子を協議会のメンバーが視察しました。



福岡市防災センター見学 (防災部)

6月6日、協議会メンバー21名参加。消化訓練、地震・暴風体験、火災避難訓練を受けました。



読者のご意見に対する回答 (企画・広報部)

「ご意見」

私、「東風だより」を初めて読んだ気がしていますが、A3用紙折込みのA4サイズ8ページに全て横書きでフル印刷されています。

普通横書きの場合は、左綴じで右めくりが自然で一般的と思いますが、本誌は逆で右綴じで左めくりです。

書籍や新聞などの様に縦書きが基本であれば、読み終わりが左下に行き自然と左めくりとなり違和感はありませんが、本誌の場合、全て横書きのため右下で読み終わった後、左からめくることに違和感を覚えますが如何でしょうか。

最初表紙が最終ページ側と勘違いして読みだした後、直ぐ逆に気づきましたが、このように感じられた方は私一人ではないと思いますので、然して重要でもありませんが意見させて頂きました。

「回答」

ご指摘の通り、「東風だより」は平成28年9月刊行の創刊号から、横書き・右綴じとなっております。これは、以下のような経緯からです。

- 1) 宇美町広報が右綴じとなっており、皆様が宇美町広報と一緒にファイル等に綴じこまれる時に、同じ方向となるので、便利だろうと、これを第一義に考えました。
- 2) 広報を作成する場合、複数の編集者が関係します。また、編集する場合は、殆どの方がパソコンで文章の作成を行います。そうしますと、各編集者が使用するパソコンソフトで共通のワードプロセッサは、一般的に、マイクロソフトの「ワード」です。

この「ワード」、横書きの場合、行間開け・段組み・ルビ・算用数字入力、等等、色々便利な機能がある反面、これらを縦書きで行うと、これら機能を利用出来なかったり、非常に時間を掛けて作成ざるを得ません。このような理由で、横書きとしております。

- 3) 創刊号の編集者会議(関係自治会からの7名で構成)の時に、他コミュニティ運営協議会が発行している広報誌も参考にし、2コミュニティでは、右綴じ・会長挨拶のみ縦書きで他の記事は横書き、また他の2コミュニティでは、1~2ページで縦書き。これらの事を考慮し、「右綴じ・横書きで発行しよう」と考えました。
- 4) なお、今後の改良点としては、文章を少なくし写真を多くする、記事が2ページに跨らないように編集する等、考えられますが、総会特集号のように文章がどうしても多くなる号に関しては、記事が2ページに跨らざるを得ないと考えます。

以上の事から、今後とも、右綴じ・横書きを続行する所存ですので、ご理解の程、宜しくお願い申し上げます。

「東風だより」は「宇美町ホームページ」でも見る事が出来ます。
「宇美町ホームページ」->右下にある「みんなでつくり元気な地域コミュニティ」->「宇美東小学校区コミュニティ運営協議会」->「広報誌」とクリックして下さい。

編集後記：。第7号は、主に協議会が関連した活動を時系列で記載しました。次回の発行は来年月ごろを予定しています。皆様のご投稿・ご意見、宜しくお願い申し上げます。

第一分団操法大会

日頃より地域の皆様には、地域防災及び消防団活動に御理解と御協力いただきまして、誠に感謝申し上げます。

さて、我々第一分団は、6月17日(日)に開催されました宇美町消防操法大会に引き続き、7月1日(日)に開催されました糟屋地区消防操法大会におきましても、優勝という輝かしい成績を収め、7月22日(日)に開催されました福岡県消防操法大会に出場することができました。福岡県大会では、第9位という成績でしたが、4月下旬から7月下旬までの3ヶ月間において団員間の絆が深めることができました。



この経験を地域防災や災害時での活動に活かし、今後も地域のため尽力してまいります。

(佐藤 第一分団長 記)

夏祭り

障子岳自治会 第12回夏祭り

平成30年8月4日(土)に原の前スポーツ公園で盛大に行われました。障子岳以外にも多くの方が来場され、夏祭りを楽しまれました。

「子供たちの須佐太鼓」・「ビンゴゲーム」・「ラムネ早飲み大会」・「フラダンス」・「歌謡ショー」・「盆踊り」・「福引抽選会」等のアトラクションがあり、特に福引抽選会は大いに盛り上がりました。



障子岳自治会 夏祭り

出店は一般出店と自治会出店がありほとんどの出店が完売という盛況ぶりでした。(松田 障子岳自治会長 記)

とびたけ三自治会 第29回夏祭り

平成30年7月28日(土)開催。午後7時から9時半頃まで、約250名の参加で行われました。幼児のお菓子取り、小中学生の輪投げ、組対抗ゲーム、その合間合間に盆踊りがあり、会場にはヨーヨー釣り、かき氷、ポン菓子、くじ引きで子供達が大いに喜んでいました。さらに9時からの楽しみ抽選会では、大いに盛り上がりました。(江口 とびたけ三自治会長 記)



とびたけ三自治会 夏祭り

一本松公園池の清掃 (環境部)

6月27日、町主催の一本松公園池の清掃作業に協力しました。ボランティア募集への応募者、50名と町職員と合わせ、総勢60名で、ほぼ予定通りに完了することができました。

お盆前の夏休みに何度か現地の様子を見にいきましたが、今年の異常な熱さもあり、一本松他は親子で大盛況でした。(山野 環境部長 記)



助け合って住みよい地域づくり
ヘドロなどを土嚢に詰める。

池の底にはヘドロ・枯葉が一面に堆積

堆積していたヘドロ・枯葉はきれいに除去

作業の終わり頃

下の池には水が溜まっていて掃除は困難でした。

ヘドロ・枯葉が詰まった土嚢の山

池の中にあった小石の山

介護予防教室<毎週月曜日> (健康福祉部)

毎週月曜日の10時～11時30分に障子岳自治会公民館で行われています。毎回30名～50名の方が参加されています。内容は「運動」・「脳トレーニング」・「保健の話」・「レクリエーション」です。65歳以上の方なら誰でもいつでも参加できます。登録は障子岳自治会公民館随時受付しています。参加してみませんか。お待ちしております。(松田 健康福祉部長 記)



介護予防の4本柱

脳トレーニング

運動